

製品名: リン酸化CDK1/2 (Thr14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02841**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.22mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 34 kDa; Observed MW: 34 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK1/CDK2/
別名	CDKN2; p33(CDK2)
遺伝子ID	983/1017
SwissProt ID	P06493/P24941
免疫原	ヒトCdk1/2のThr14周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

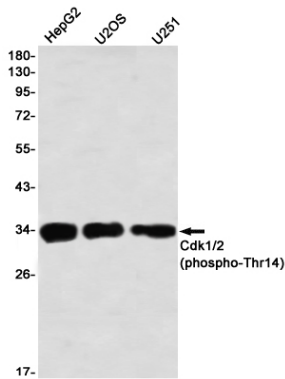
Cdk2はSer/Thrタンパク質キナーゼファミリーの一員です。S. cerevisiae cdc28およびS. pombe cdc2の遺伝子産物と高い類似性を

示します。Cdk2は、増殖マーカーとして有用であることが証明されている cdc2 (cdk1) と密接に関連しています。Cdk1 と Cdk2 は、M 期促進因子 (MPF) として知られる高度に保存されたタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットであり、真核生物の細胞周期における G1/S 期および G2/M 期の移行に不可欠です。

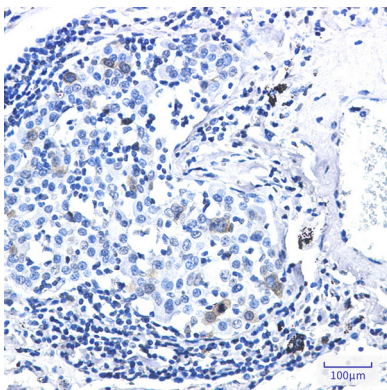
研究分野

細胞生物学

画像データ



リン酸化 CDK1/2 (Thr14) 抗体を使用した、HepG2、U2OS、U251 溶解物中の Cdk1/2 (Phospho-Thr14) のウエスタンブロット分析。



Cdk1/2 (Phospho-Thr14) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。